

擬古物語の形容動詞

村田 菜穂子*¹ 前川 武*²

Adjectival Verbs in Pseudo-classical Narratives

Nahoko Murata*¹ Takeshi Maekawa*²

キーワード

形容動詞 擬古物語 語彙表 中世後期 近世 語彙史

I はじめに

これまで中古散文作品から採取された形容動詞について、それぞれの形容動詞がどの資料でどのくらい使用されているかを対照語彙表の形にまとめ、その一方で、各形容動詞について語構成を分析し、その結果を拙著『形容詞・形容動詞の語彙論的研究^(注1)』において前稿①「中古散文作品における形容動詞対照語彙表」として公表した。

その後、調査対象を軍記物語・今昔物語集へと拡大し、これらから採取された形容動詞の対照語彙表^(注2)の公表を続けてきた。

本稿では、これらに続く資料として、中世の擬古物語に用いられた形容動詞の使用頻度等について調査すべく、『松浦宮物語』『山路の露』『風に紅葉』『木幡のしぐれ』の4つを取り上げ、どのような形容動詞がどの作品にどれくらい使用されているかが一覧できる形式にて対照語彙表を作成した。

II 凡例

[1] 見出し語の配列

歴史的仮名遣いにより五十音順に配列する。

[2] 型および分類1、分類2

「型」とは、「たのもしげなり」や「をかしげなり」等のような形容動詞語幹を構成する接尾辞～ゲをとるナリ活用形容動詞（ゲナリ型形容動詞）と、「はるかなり」や「あきらかなり」等のような形容動詞語幹も構成する接尾辞～力（～ヤカ・～ラ力等を含む）をとる

*むらた なほこ：大阪国際大学国際関係研究所教授（2017. 9. 22 受理）

*まえかわ たけし：大阪国際大学短期大学部教授

ナリ活用形容動詞（カナリ型形容動詞）と、それ以外の形容動詞（「その他の形容動詞」）とを区別したものである。「ゲナリ」はゲナリ型形容動詞、「カナリ」はカナリ型形容動詞、空欄はその他の形容動詞を指す。

「分類1」は「型」の下位分類で、「ゲナリ」の語基（～ゲの前項要素）を区別したものである。

■形容動詞～ゲナリの語基

「ク活」	ク活用形容詞語幹
「シク活」	シク活用形容詞語幹
「カリ活」	形容詞カリ活用連用形
「形動幹」	形容動詞語幹
「動詞」	動詞連用形
「名詞」	名詞
「助動連」	助動詞連語

「分類1」と同様に、「分類2」は「型」の下位分類で、「カナリ」の～ナリの直前の接尾辞を区別している。

■形容動詞～カナリの語幹を構成する接尾辞

- ～カ
- ～ヤカ
- ～ラカ
- ～ソカ
- ～ビカ
- ～ヨカ

[3] 語種

語構成要素を分析し、漢語は「カ」、混種語は「コ」と示し、和語は空欄とした。

[4] 漢字

各形容動詞の主な意味を表すために適宜振ったもの。

[5] 作品ごとの出現数

各見出し語がそれぞれの作品で出現した数を示したもの。

表中の作品名は、「はじめに」の下線部で示したもので略記した。

[6] 既存の五資料における出現状況

各見出し語がどの資料に使われているかを簡潔に示すべく、その見出し語が使われた資料に○を施した。

既存の五資料とは、【中古散文作品】【軍記物語】【今昔物語集 天竺震旦部】【今昔物語集 本朝仏法部】【今昔物語集 本朝世俗部】（表中では、下線部で示したもので略記した）

Ⅲ 調査に際して使用した資料

『松浦宮物語総索引^(注3)』

『源氏物語外篇 山路の露 本文と総索引^(注4)』

『風に紅葉 依拠物語 本文 総索引^(注5)』

『甲南女子大本 こわたの時雨 本文と索引^(注6)』

【付記】

本稿は、日本学術振興会平成28 - 30年科学研究費補助金（基盤研究（C）、課題番号16K02746）による研究成果の一部である。

注1 [2005・11 和泉書院]。拙著には、「中古散文作品の形容動詞対照語彙表」（別表四）を載せている。

注2 ①「今昔物語集の形容動詞対照語彙表」（『大阪国際大学紀要国際研究論叢』17-1 [2005・1]）、②「軍記物語の形容動詞対照語彙表」（『帝塚山学院大学日本文学研究』38 [2007・2]）

注3 菅根順之編 [1974・1 笠間書院]

注4 山内洋一郎編 [1996・1 笠間書院]

注5 関恒延著 [1999・1 教育出版]

注6 大槻修、槻の木の会編 [1984・3 和泉書院]

国際研究論叢

NO.	中古	軍記	今昔 天竺	今昔 仏法	今昔 世俗	見出し語	漢字	型	分類1	分類2	語種	松浦	山路	紅葉	木幡
1	○					こころふかけなり	心深	ゲナリ	ク活用			1			
2	○	○		○	○	こころほそげなり	心細	ゲナリ	ク活用					3	1
3	○					こころもとなげなり	心許無	ゲナリ	ク活用				1		
4	○					こころやすげなり	心安	ゲナリ	ク活用					1	
5	○					ことありがほなり	事有顔						1		
6	○		○		○	ことごとしげなり	事事	ゲナリ	シク活用					2	
7	○	○	○	○	○	ことなり	異・殊					27	6	7	1
8	○					ことばすくななり	言葉少								1
9	○	○	○	○	○	ことわりなり	理						8		3
10	○	○		○	○	こひしげなり	恋	ゲナリ	シク活用					1	
11	○	○	○	○	○	こまかなり	細・濃	カナリ		カ		6	3	4	
12	○	○			○	こまやかなり	細・濃	カナリ		ヤカ		2		3	3
13	○	○	○			さかさまなり	逆様							1	
14	○	○	○	○	○	さかりなり	盛					5	1	2	
15	○					ささやかなり	細	カナリ		カ			3	2	1
16	○	○				さすがなり	流石							12	2
17	○	○				さだかなり	定	カナリ		カ		4	4		
18	○	○			○	さやうなり	然様				コ			6	
19	○	○				さやかなり	清明	カナリ		カ		3	1		
20	○			○	○	さらなり	更					3			
21	○					しぐれがちなり	時雨								2
22	○	○			○	したたかなり	強	カナリ		カ					1
23	○	○	○	○	○	しづかなり	静	カナリ		カ		4		3	2
24	○	○			○	しどけなげなり		ゲナリ	ク活用				1		
25	○	○	○	○	○	しのびやかなり	忍	カナリ		ヤカ			2	1	3
26	○	○				しぶしぶなり	渋渋							1	
27	○					しめやかなり	湿	カナリ		ヤカ			4		6
28	○					しらずがほなり	不知顔						2		
29	○					しりがほなり	知顔							1	
30	○					すくよかなり	健	カナリ		カ		1	1		1
31	○	○		○	○	すずろなり	漫					3			
32	○	○				すなほなり	素直					1			
33	○	○	○	○	○	すみやかなり	速	カナリ		ヤカ		4			
34	○	○				そうそうなり	忽忽				カ			1	
35	○	○	○		○	そぞろなり	漫							5	1
36	○					そらごとなり	嘘事						1		
37	○	○	○	○		そらなり	空・虚					2			1
38	○	○	○	○	○	たしかなり	確	カナリ		カ		1	1		
39	○	○				ただなり	只・徒・直							4	
40	○	○				たのもしげなり	頼	ゲナリ	シク活用				2		
41	○	○	○	○	○	たひらかなり	平	カナリ		カ				3	1
42	○	○	○	○	○	たひらなり	平						1		
43	○	○				たまさかなり	偶・邂逅							1	1
44	○				○	たゆげなり	弛	ゲナリ	ク活用						1
45	○					つつましげなり	慎	ゲナリ	シク活用						1
46	○	○	○	○		つねなり	常					8			
47	○	○	○	○	○	つれづれなり	徒然					2	1	3	2
48	○	○				なかなかなり									
49	○					なかもりなり	中盛							1	
50	○				○	ながやかなり	長	カナリ		ヤカ				1	
51	○					ながらかなり		カナリ		カ					1
52	○				○	なごやかなり	和	カナリ		カ					1
53	○	○				なつかしげなり	懐	ゲナリ	シク活用			1			
54	○	○				なのめなり	斜・普通					2	4	7	
55	○	○				なほざりなり	等閑					1	1	2	
56	○	○				なまじひなり	懨・生強					2			
57	○					なみだがちなり	涙								1
58	○	○				なみなみなり	並並							2	
59	○					なめげなり	無礼	ゲナリ	ク活用			1			
60	○	○		○	○	なやましげなり	惱	ゲナリ	シク活用						2
61	○					なよびたり							1		
62	○				○	なよかなり		カナリ		ヨカ				2	
63	○					なよらかなり	柔	カナリ		カ					1
64	○				○	にくげなり	憎	ゲナリ	ク活用					1	
65	○	○	○	○	○	にほかなり	俄	カナリ		カ		1	4		
66	○					にほひやかなり	匂	カナリ		ヤカ					1
67	○	○				ねさめがちなり	寝覚						1		3
68	○					ねなきがちなり	音泣								5
69	○	○	○	○	○	ねんごろなり	懇								1
70	○	○	○			のどかなり	長閑	カナリ		カ		1	3	2	2
71	○					のどやかなり	長閑	カナリ		ヤカ			3	3	
72	○					はかなげなり	果無	ゲナリ	ク活用			1			2
73	○	○			○	はづかしげなり	恥	ゲナリ	シク活用				1	2	2
74	○	○		○	○	はなやかなり	華	カナリ		ヤカ		2	1	4	3

擬古物語の形容動詞

NO.	中古	軍記	今昔 天竺	今昔 仏法	今昔 世俗	見出し語	漢字	型	分類1	分類2	語種	松浦	山路	紅葉	木幡
75	○	○	○	○	○	はるかなり	遥	カナリ		カ		27	1	5	
76						ひさしげなり		ゲナリ	シク活用						1
77	○					ひたおもてなり	直面							2	
78	○					ひたすらなり	一向								1
79						ひたぞらなり									1
80	○	○				ひとかたなり	一方					2			
81	○				○	ひとすくななり	人少						1		
82	○					ひとわらはれなり	人笑							1	
83	○					ひんなげなり	便無	ゲナリ	ク活用		コ	1			
84	○			○	○	ふくかなり	脹	カナリ		カ				1	1
85	○	○	○	○	○	ふしぎなり	不思議				カ		1		
86	○			○		べちべちなり	別別				カ			1	
87	○					ほかなり	外					3			
88	○	○	○	○	○	ほのかなり	仄	カナリ		カ		7	1	3	2
89						まことしげなり	実	ゲナリ	シク活用					1	
90	○	○	○	○	○	まことなり	真・実・誠					2			
91	○					まことほなり	待遠					1			1
92	○					まばゆげなり	眩	ゲナリ	ク活用					1	
93	○					まほなり	真秀・真面						4		
94	○					まめなり	忠実					2	1		
95	○	○			○	まめやかなり	忠実	カナリ		ヤカ			7	4	
96	○	○	○	○	○	まれなり	稀					1	1	2	
97	○			○		むらいなり	無礼				カ			1	
98	○	○				めづらかなり	珍	カナリ		カ		2	5		4
99	○					めづらしげなり	珍	ゲナリ	シク活用						1
100	○	○	○	○	○	ものあはれなり	哀						3	2	
101	○					ものうげなり	憂	ゲナリ	ク活用				1	1	
102	○					ものおもほしげなり	思	ゲナリ	シク活用					1	
103	○	○				ものさびしげなり	寂	ゲナリ	シク活用						1
104	○					もよほしがほなり	催顔					2			
105						やうなり	様				カ	9			
106	○			○	○	やすらかなり	安	カナリ		カ					3
107	○	○	○	○	○	やはらかなり	柔	カナリ		カ					2
108	○					ゆきあられがちなり	雪霰						1		
109	○	○				よこしまなり	横様					3			
110						よほよほしげなり	弱弱	ゲナリ	シク活用					1	
111	○			○	○	らうたげなり	勞	ゲナリ	ク活用		コ	5	3	2	5
112	○					わかやかなり	若	カナリ		カ			1	1	1
113	○	○			○	わづかなり	僅	カナリ		カ		2			
114	○				○	わびしげなり	侘	ゲナリ	シク活用					1	
115	○					わららかなり	笑	カナリ		カ				1	
116	○		○	○	○	をかしげなり	可笑	ゲナリ	シク活用			1	5	6	2
117	○	○	○	○	○	をこなり	愚・痴								1
118	○				○	をさなげなり	幼	ゲナリ	ク活用				1		